



みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
こばやし ゆうき
小林 優希

皆さま、こんにちは！2021ミス日本

「みどりの女神」の小林優希です。

先月号で触れました、NHK連続テレビ小説『おかえりモネ』の放送がついに始まりましたね！「ここ行ったところだ」「これ見たことあるー」など、毎日の放送に自分の知見のあるところが出てくるので、ワクワクと心を踊らせながら見ております。

林野庁ウェブサイトでは、ドラマの内容に合わせて林業を解説しています。こちらにも私の楽しみになっております！

以前視察した登米市の森林組合の方から、嬉しいお知らせがありました。なんと『おかえりモネ』の影響を受けて、連日観

光に来るお客様が増えているのだとか。どこかで素敵なところばかりですので、皆さまもコロナが落ち着きましたら是非、行ってみてくださいね。

さて、5月の私の活動を報告いたします！

岐阜県でチャンネル国土緑化の撮影に参加

一つ目は岐阜県揖斐郡にて、チャンネル国土緑化の「日本全国みどりを育む現場のいま みどりと清流の国・岐阜県を訪ねて」の撮影を行いました。

岐阜県は、県域の8割を森林が占めており、世代を越えた木々の手入れに注力されているそうです。そのシンボルとも言えるのが、撮影で訪れました天皇林公園です。天皇林公園では、昭和32年（1957年）4月の全国植樹祭にて、昭和天皇と香淳皇后がスギの苗木をお手植えされたとのこと。そのスギの苗木は、現在の上皇さまや天皇陛下が世代を越えてお手入れをされ、60年以上の時を経て、空高く伸びる立派な木に成長しています。

「植える・育てる・伐る・使う」のサイクルが確立されているのも、岐阜県の林業の魅力の一つです。もう一つの撮影場所の谷汲緑地公園には、県産材で作られたアスレチックがありました。そのアスレチック



▲木のアスレチックで遊ぶ子狸たち

で遊ぶ子供達を「子狸」と呼ぶのだそうです。幼い頃から県産の木々と触れ合い、木の温もりを感じながら成長する子狸たちと、彼らを町全体で見守る温かさを肌で感じました。

雨の中行われた、とうきょう林業サポート隊のポスター撮影

二つ目は、とうきょう林業サポート隊のポスター撮影です。あいにくの雨の中での撮影でしたが、東京都森林組合をはじめとした皆さまのご協力により、無事撮影を終えることが出来、ホッと一安心しております！

とうきょう林業サポート隊では、毎年東京の森づくりを促進するためのメンバーを募集しています。先述した「植える・育てる・伐る・使う」のサイクルを整えるためには、

森づくりをサポートしてくれる人材が必要です。実際に作業をしているようなシーンを撮影することで、初心者でも作業のノウハウを学ぶことが出来るということをお伝え出来ればと思っております。

私がみどりの女神の活動を始めて2ヶ月が経ち、徐々に友人が林業界に興味を持つようになりました。「森に行くの、楽しそう」「活動の報告を見るのが楽しみ」といった言葉を受け取るようになりました。この調子でもっと多くの方に林業界の魅力をお伝えできるよう、頑張つてまいります！



▲ヘルメットと下刈鎌を持って撮影！

●チャンネル国土緑化
<https://www.green.or.jp/channel/index.php>



●林野庁ウェブサイト
「おかえりモネ」解説ページ
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/okaeri_mone.html

